タイピックだより

10月号

2016.9.20 発行　Vol.46

十月。衣替えの時期にもなると、一気に秋めいてきます。気温も低くなり、日中でも寒さを感じます。店頭に並ぶ秋の旬の食材や、赤や黄色へと少しずつ変わっていく薄紅葉の山を見て、秋を感じる人も多いのではないでしょうか。

一日一日と長くなる秋の夜は「夜長」「長き夜」などの言葉で、和歌にも詠まれています。ゆったりとした秋の夜は、寂しい物悲しいと詠まれている歌もありますが、しみじみとして心が落ち着くと詠まれていることもあります。電気があり、真っ暗な夜を知らない私たち現代人でも、長い夜に、昔の人たちと同じような気持ちになることがありますが、それも先人から受け継いでいる心なのかも知れません。

秋といえば〇〇の秋。「スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋」など沢山ありますが、皆様はどのような秋をお過ごしですか。タイピックのパソコン教室でも、生徒さんの畑で収穫されたサツマイモなどの野菜市や秋ならではの講座やイベントで盛り上がっています。様々な行事や楽しみがある秋を一日で満喫するのは難しいですが、過ごしやすいこの時期に、余裕があればいろいろなことを楽しんでみたいものですね。

お水の宅配始めました

環境にやさしく、おいしく安全な水を皆さまのご家庭やオフィスにお届けします。

ウォーターネットのウォーターサーバーは、いつでもお水もお湯もご利用いただけます。

ご用命は、担当営業にお問合せ下さい。

なくてはならない水だから
安心安全な水をいつもそばに

無料お試し実施中！

必要とされる人へ、必要とされる会社へ
株式会社 タイピック
〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856)23-2800㈹ Fax. (0856)22-5592番
http://www.typic.jp

社長のつぶやき

致知出版社で中国古典の『大学』を素読していると聞き、「じゃあ私も素読してみよう」と平成二十二年六月に『大学を素読する』（伊與田覺著　致知出版社発行）を購入し素読を始めた。

この『大学』のまえがきには、因みに古典を学ぶ上に於いて大切なことは「素読」です。素読は天命に通ずる先覚の書を自分の目と口とそして皮膚を同時に働かせて吸収するのです。これを読書百篇で繰り返し続けることによって、自分の血となり肉となるのです。それが時あって外に滲み出ると風韻となり。そういう人格ともいうのです。とあり「百篇か・・・素読してみるか」素読を始めた。

私は本を読んだら年月日を記入している。この本は良いと思ったら何度も読み返すので、読んだ年月日を記入しておかないと、いつ読んだのか何回目かが分からないからなのだ。この大学は何度も素読しようと最初から正の字で数えている。

素読を始めたが意味など全くわからず、上段に解説分が書いてはあるが、それを読んでもよく解らなくても「読書百篇、意自ら通ず」で読むうちに何とか理解できるようになると思って読んでいたところに、平成二十四年に大学の解説書である『「大学」を味読する　己を修める人を修める道』（伊與田覺著　致知出版社発行）があることを知り購入し学んでいる。

社員にも素読してもらおうと百回くらい素読した時に社員全員に配り、毎朝朝礼の前に素読するようになった。

このようにして朝礼の前に本を読むようになったのですが、今年になってから『ポケット修養訓』「成功と失敗の法則」『己を修め徳望を磨く古典小学を読む』（いずれも致知出版）などを輪読し、今月からは『心を高める、経営をのばす』（稲盛和夫著　ＰＨＰ出版）を読み込んで経営を伸ばそうと思っている。

島根県倫理法人会が主催している「第十回百日実践トライアル」で「毎日二時間学を為す」をチャンジしてなんとか達成した。昨年も夏頃に同じ内容でチャレンジして苦労した想いがあったが、今年は慣れなのか簡単に達成でき終了してからも継続している。毎朝四時起を目標に目覚まし時計なしで通常三時半には起きることができるようになってきた。但し、寝る時間が早くなり九時半頃には眠たくなる。外で酒を飲んでいるときも眠たくなるので十時半にはタクシーに乗るようになった。早起きは三文の徳というが、夜の飲み代が減り三文の徳を実感している。

十月から始まるトライアルでは何をしようかと考えているが、倫理法人会の「万人幸福の栞」を毎日一条書き写そうかな・・・日々千文字の文章を書くことにしようかと悩んでいる。

わが社のほっとニュース

社員全員で誕生日メッセージ

タイピック社員の誕生日には、社長から花束とメッセージが贈られます。そして、社員全員のお祝いメッセージも添えられています。

いくつになっても誕生日は特別な日。一年に一度、社長をはじめ社員全員からのあたたかいメッセージは、とても嬉しい感動の日になります。

一緒に働ける仲間に感謝。そして、何よりも両親に感謝し、日頃はなかなか言えない気持ちを手紙に書いて両親に送る社員もいます。誕生日は、両親に感謝する日でもありますね。

社内木鶏会 致知の感想

いい会社をつくる原点

浜田教室　西田　寿喜

恩という言葉は道徳の言葉ではなく、生きていくうえの真理である。」という言葉が全て語っている。恩を知り、感謝することから始まっていく。この言葉があればこそお客様の恩に報いる為に毎日の掃除を繰り返す。そして繰り返すうちに 私がやらずに誰がやる」といった価値観が芽ばえてくる。素晴らしいことと思う。

別に誰かから、ほめられたいとかを考えたうえでの行いではなく、色々な日々の恩に報いる行動が、人と人を結びつけるのだと思う。

慣れてくれれば、傲慢になるのは人の常であるならば、日々、自らに問い続けなければならない。周りの人からの恩を感じ恩に報いる日を送りたいと思う。

いい会社をつくる原点

萩教室　後藤　清子

対談を読んで最も印象に残ったのが、「凡事継続」という言葉です。

井上社長は 当たり前のことをきちんと徹底することによって、社員の気づく力や察する力が涵養されていく」と言われていますが、たとえ 凡事」であってもそれを 継続」することは容易でないと思います。では、私がパソコン教室で勤務するにあたっての 凡事」とは何かと考えてみると 生徒さんの顔を見て笑顔であいさつをすること」です。笑顔は相手はもちろん、自分自身も幸せな気持ちにさせてくれます。そして、人は楽しい場所、楽しそうな場所に集まると思うので、私自身が笑顔で楽しく働くことで、萩教室を楽しい場所にし、ひいては、生徒さんにとっても教室が楽しい場所になると考えています。いい教室を作るためにも、この 凡事」を 継続」していこうと思います。

特集　恩を知り恩に報いる

宇治教室　平井　明子

数年前に寒天ブームが起き、私も寒天を購入した事を覚えていますが、伊那食品という会社は今回の記事を読み初めて知りました。いつも思うのは、躍進した会社には、謙虚な、それでいて固定観念にとらわれない革新的な考え方を持つ経営の存在があると感じます。常に前だけを見て己の損得を考える事をしないで、志を高く持って仕事に当たることを続けるのは、本当に自分自身を律する必要があり、大変な事だと思いますが、それが自然と身につけばリーダーとしても認められるのだと思いました。

私欲に走らないで、恩を知り、恩に報いる」人として生きていく上でも大切なことです。人との関わりを縁があったことを大切に、私もパソコン教室の皆さんとより良い関わりと絆を深めていきたいです。

誕生日の決意

印刷事業部　岡﨑　幸枝

若い方々のパワーを頂きながら、お仕事をさせて頂いています。

年々、月日が経つのも早く感じられ、年を重ねる度に思うのが、自分の年代の時、母は何を感じ、何を思い暮らしていたのか…。時代は違うが、その時々に応じた生き方があったのであろうとそんなことに想いを馳せてしまいます。

誕生日には、今、ここに自分が居ることに感謝し、先祖の墓参りに行こうと思っています。そして、少しでもお役に立てる様に頑張ります。

津和野教室　松田　美穂子

ご縁があって、今年3月より務めさせていただき、もう半年がたちました。津和野教室に通わせてもらい、初めは戸惑うことばかりでしたが、今は生徒さんとも打ち解けることができ、毎回楽しく過ごしています。

中でも、お茶休憩の時間は生徒さんのお話を聞くことができてとてもいいです。生徒さんは70代、80代の方が多く、人生経験も豊富で、為になるお話を聞かせてもらっています。

パソコン教室に通いながら、地域のお世話をされる方やサークルの指導をされる方など皆さん積極的に活動される方が多いのに驚きです。いつも前向きに笑っておられる姿は、人生のお手本にさせていただかなくては！・・と思います。

また誕生日を迎え、50歳もだいぶ過ぎてから、この教室とのご縁や生徒さんとの出会いがあり、こんなイイことがあるなんて！「人生楽しいものだ」「私の人生ステキだね!!」と思う今日この頃です。これからの一年も大切にしたいと思います。

ゆっくりやさしいパソコン教室

鷲羽山　バス旅行　浜田教室

朝七時、待ちに待ったバス旅行の当日。天気は少し曇り気味だけど、雨も降らず旅行には支障がない。このバス旅行もすでに、七回目。各地の史跡めぐりや美術館にも行ってきたが、今回は岡山の鷲羽山展望台で景色を楽しみ、メインは童心に戻っての遊園地。ジェットコースターや観覧車に乗るのは何十年ぶりの方達ばかりでスリルも楽しめそう。

バスは快適に出発し、途中は一時間毎のトイレ休憩の予定。バス旅行での最初の楽しみはバスの中。用意したDVD「探偵ナイトスクープ」を見ながら、コーヒーを飲む人、ビールに日本酒。

中には焼酎を嗜むという強者もいる。前の座席や後ろの座席からはそれぞれが用意したおやつが飛び交って結構忙しい。また今回も〇〇さんは探偵ナイトスクープを見ながら泣きそうになってる。

福山のサービスエリアを過ぎて、目的地まで後20分の頃、小雨が降ってきた。今日のコースは全て屋外だから出来れば降らないで欲しいなぁ～。「〇〇さん、ちょっと電さんに電話して雨降らすの止めさせて」「わかった、電話しとく」などと阿吽の会話。しかし、鷲羽山の展望に到着した時には本当に雨は止んでいた。

鷲羽山展望台は絶景だった。あいにくの曇りではあったが眼下に広がる瀬戸内と瀬戸大橋は充分に気持ちを癒してくれた。「ねぇ、あそこの売店で『水下さい』って言ったら、これ売ってくれた。」と右手にあるのは缶ビール。鷲羽山に到着するやいなや、絶景に目もくれず目指したのは売店の缶ビール。「バスの中でも飲んで、また缶ビール。前回の旅行の時も同じ言い訳してビール飲んどった。」と絶妙のタイミングで突っ込みが入る。

「鷲羽山ハイランドに到着しました。園内では忘れ物と落とし物をしないように気を付けてください。特に命は落とさないように。」（笑）園内には命知らずの長～い階段。でも、この階段を上らなければ観覧車に乗れない。観覧車の横の方ではバンジージャンプ。「最近の若者は命を粗末にしとるな～」と呟く。

帰りのバスに集合したみんなは、へとへとの顔で会話にならない。一日童心に戻り、くたくたになった。この日の話はまた後日、忘年会で話に花が咲くだろう。楽しい一日はあっという間に過ぎていくけど、みんな楽しそうで何よりでした。また来年も一緒に旅行しましょう。

5教室合同写真コンテスト

毎年恒例の5教室合同写真コンテストが始まりました。応募締切は10月末ですが、続々と素敵な作品が集まってきています。

毎年応募数が年々増えていますが、どの作品も素晴らしいものばかりです。今年は、どんな作品が出品されるのか、今からとても楽しみです。

生徒さんの力作は各教室に展示され、教室の生徒さんや弊社の社員が投票し各賞が決まります。

結果発表は、このタイピック新聞と弊社ホームページで行いますので、楽しみに待っていてください。

パソコン教室に行けば、日常の生活ではできない体験をすることができ、これからの人生の楽しみが増えること間違いありません。

ぜひ一度教室に足を運んでみてください。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

ゆっくり　やさしい
パソコン教室
TYpic
同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします